



みんなの「百年の森」づくり 春の講習会 ～草地管理体験～ 結果報告

大泉緑地管理事務所

平成22年6月20日（日）午前11時より、みんなの「百年の森」づくり春の講習会を開催しました。梅雨に入り、雨が心配されましたが、天候も曇りで作業中は雨にあうこともなく、実施することができました。参加者は、周辺の自治会やボランティアの方など合計22名が参加されました。



[第1回講習会の概要]

講師：元大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授 前中 久行 先生

午前 11:00～午前 12:00 大泉緑地「百年の森」（座学）

午前 12:00～午後 13:00 昼食（参加者の皆さんで食事会）

午後 13:00～午後 14:40 草地タイプ^oの説明、草地管理実験（草刈りの実技、秋の姿予想）

午後 14:40～午後 15:00 ふりかえり（座学）、解散

[講習会の状況]

～午前の部（11時～12時）～



アイスブレイクの状況

前中先生、浅野所長のご挨拶の後、アイスブレイクによる自己紹介を行いました。また、自己紹介の際に、皆さんに一言ずつ「大泉緑地の思い出」について語ってもらいました。当初15分の予定でしたが、話し出したらとまらない程、「思い出」の多い方も沢山いらっしゃったため、30分ほどかけて、自己紹介を行いました。大泉緑地の昔の姿や楽しみ方など参加者から非常に興味深い話を伺うことができました。



座学の状況

前中先生より、大泉緑地の成り立ちや、今後「百年の森」づくりをどうしていくかといった将来的な計画などの話を交えながら、本日の講習会内容である草地の必要性について解説をいただきました。具体的には、緑地の要素としての草地の役割、成立条件、管理の方法、生活型などについてわかりやすく解説いただきました。講義直後やその後の食事などに、参加者からの質問が多数あり、関心の高さが伺えました。

～午後の部①（11時～3時半）～

座学の状況



移動中の植物観察の状況

草地管理場所へ参加者全員で移動しました。

草地管理場所は徒歩 10 分程のところであり、道中、前中先生により、植物観察の講義を行いながら移動しました。土湿環境と植物相の違い（クサイ）、植物の見分け方（ニワゼキショウとアイイロニワザキショウ）などのお話を分かりやすく解説していただきました。参加者全員大変興味ある様子で、植物を採取して観察していました。



草地管理方法の説明

草地管理場所では、刈り取るところと、刈り取らないところにわけて作業を行います。

また、午前中の講習会の説明でもあったように、草地管理は除草（草をとり除く）するのではなく、草を残す（望ましい草、望ましい状態）とすることの解説をしていただきました。

そのため、参加者の考えで、残したい植物を選別して刈り取ってくださいとのことでした。



草地管理作業の状況

約 5 名を 1 班として計 4 班で作業を分担して刈り取りを行いました。参加者の作業が早く、およそ 100 m²もの面積が、30 分ほどで刈り取ることができました（予定では 1 時間想定していました）。また、作業中の休憩時間に、前中先生からクズの葉を使った草遊びやヘビイチゴとオヘビイチゴの見分け方などの解説をしていただいたこともあり、楽しみながら作業を行うことができました。（※1）



看板設置の状況

作業終了後、今後モニタリング調査が行えることと、普及啓発に役立つように参加者とともに看板を設置しました。

看板の設置は各班につき 1 箇所行いました。



(※1) 草地管理前と管理後の風景の変化

○草地管理前：

セイタカアワダチソウやヒメジョオンなどの高茎草本が密生していました。



○草地管理後

草地管理後、後景が見渡せるようになりました。



～午後の部②（3時半～4時）～



ふりかえりの状況

作業終了後、講習会会場へと戻り、ふりかえりとして上記草地管理前と管理後の比較した風景を参加者皆さんに見てもらいました。

また、その後アンケート記入と次回講習会の案内を行いました。参加者のがんばりで作業が早く済んだということもあり、3時頃にすべての予定を終了することができました。

以上をもって、第1回の講習会が終了しました。

